

(株)日本パーツセンター 本社・本社工場 環境行動計画

取組方針

(株)日本パーツセンターは、『お客様のニーズにあった優良製品を納入する為、品質・納期・コストを継続的に改善する。』を品質方針に掲げ、自然との融和、必要性から製品を生み出す防護施設製品メーカーです。

自然との融和を図る中で、環境保全が重要課題のひとつであることを認識し、環境への負荷を少なくする為に、以下の取組を実施していきます。

- ① 事業活動中での省エネルギーと省資源
- ② 製造部門、事務部門における廃棄物の削減
- ③ 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全に取り組む為に、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成20年 7月 28日

(株)日本パーツセンター
代表取締役社長 中田誠一郎

(株)日本パーツセンター本社・本社工場
取締役管理課部長 小西康博

3 環境負荷の低減目標

平成22年度迄の環境負荷の低減目標は、次の通りです。

目標-1	二酸化炭素の排出量（売上高あたり）を平成19年度を基準として平成22年度迄に5%削減する（11.51t-CO2/億円→10.93t-CO2/億円にする）
具体的な取組	<p>（製作部門での取り組み）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 昼休みには、使用していない機械の電源を切る ② 整頓を実施し、作業効率をあげる ③ 不要な照明は消しておく <p>（事務所での取り組み）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 事務室の空調は適温に調整する ② 昼休みの一斉消灯、人のいない区域の消灯を徹底する ③ 休日前には、パソコンのコンセントを抜いておく（待機電力の削減） ④ 使用していない電気器具の主電源を切り、待機電力を削減する ⑤ 空調機の点検、整備を定期的に行う（毎月1回フィルターを清掃する） ④ エコドライブの励行（アイドリングストップ、法定速度遵守） ⑤ 社用車の点検整備（オイル交換、タイヤの空気圧の点検）

目標-2	産業廃棄物の排出量（売上高あたり）を平成19年度を基準として平成22年度迄に5%削減する（16.28t/億円→15.46t/億円にする）
具体的な取組	<p>（製作部門での取り組み）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 材料ロスを極力減らし、無駄に廃棄しない ② 産業廃棄物は決められた箱に分別して出す

目標-3	水の使用量（売上高あたり）を平成19年度を基準として平成22年度迄に2%削減する(33.66m3/億円→32.98m3/億円にする)
具体的な取組	① 水道使用時には、流しっぱなしにしない ② 水道配管からの漏水を定期的に点検する

目標-4	コピー用紙の使用量（売上高あたり）を平成19年度を基準として平成22年度迄に5%削減する(63.35kg/億円→60.18kg/億円にする)
具体的な取組	① 作成した資料は、パソコン画面上で確認を徹底し無駄な印刷をしない ② 電子情報機器の利用により、ペーパーレス化を進める ③ 社内資料は、裏紙コピーを徹底する

4. 環境行動計画の実施体制

社長を環境統括責任者とし、管理本部長を環境管理委員長、各部一名を委員とする環境活動委員会を設け取組目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックします